

須磨ヨットハーバー指定管理事業

令和6年度事業報告・令和7年度事業計画 説明会



主催：須磨ヨットハーバー運営共同事業体

株式会社ヤマハ藤田

公益財団法人マリンスポーツ財団

目次

1. 須磨ヨットハーバー運営の基本方針
2. R6年度事業報告
3. R7年度事業計画
4. R6年度決算及びR7年度予算
5. シーバード神戸の活動報告
6. B A Nの紹介
7. 新スタッフ紹介
8. 質疑応答

1. 須磨ヨットハーバー運営の基本方針

■ 総合基本方針

あらゆる人々が集い・楽しむ、神戸須磨マリンパーク

- 1 マリーナとしての基礎的サービスの徹底と魅力向上
- 2 市民に開かれたマリンパークへの進化と安全確保
- 3 周辺事業者の連携による、エリア価値向上

■ 対応すべき8つの役割

施設維持

施設・設備の
老朽化対策

利用者対応

YHユーザーニーズの
多様化と満足度向上

公共性

“開かれたマリーナ”
公共施設としての役割

エリア振興

海浜リゾートパークの
一員としての貢献

経営安定

専門サービスの提供
経営の効率・安定化

海洋振興

海洋教育・スポーツの
普及

安全防災

須磨海浜エリア全体の
安全、秩序維持

環境

持続可能な社会
環境の保全

2. R6年度事業報告①

① マリーナとしての基礎的サービスの徹底と魅力向上



	施策	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
サービス向上	駐車場の利便性向上及びキャッシュレス対応	●	→		→
	入退場システムの導入	●	→		→
	BBQスペース設置		●	→	→
	一時係留バース増設	●	→		→
	WiFi整備		●	→	→
	シャワーの時間外利用	- - -	- - -	- - -	- - -
	オーナーラウンジの設置	- - -	- - -	- - -	- - -
	屋外レストエリア設置	- - -	- - -	- - -	- - -
	マリンショップの店舗化	- - -	- - -	- - -	- - -
安全性向上	出航管理システムの導入	●	→		→
	海上清掃用ボート購入	●	→		→
	監視カメラの追加	→	→	→	→
	セーフティーラダー設置	→	→	→	→
コミュニケーション促進	管理棟1階カウンター整備	→	→	→	→
	オーナー説明会の開催	●			
	オーナーズパーティの開催	●			
	HPで利用者専用サイトの開設		●	→	→
	利用者向け公式LINE開設	●	→	→	→
	ヨット文化振興への支援	●	●		

2. R6年度事業報告②

1 マリーナとしての基礎的サービスの徹底と魅力向上

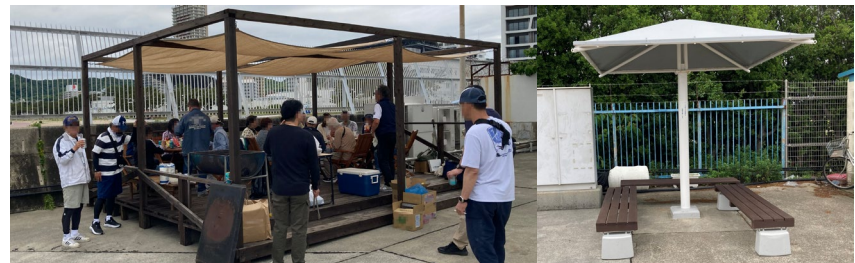
サービス向上

駐車場の利便性向上及びキャッシュレス対応



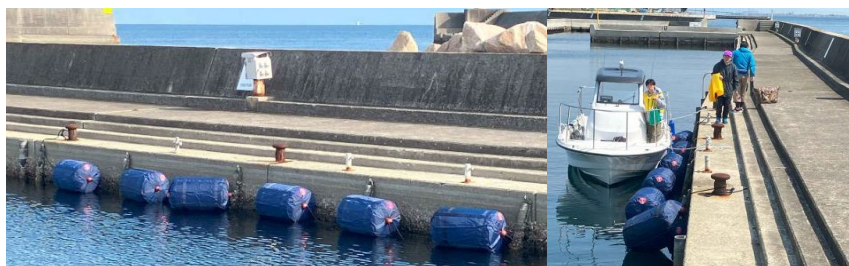
料金精算にキャッシュレス決済を導入し、利便性が向上。繁忙期にオーナー専用区画を設け、YH利用者の利便性を確保。

BBQスペース設置



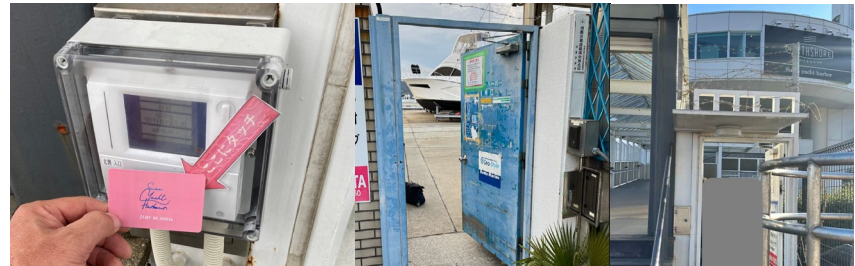
南ハーバーの東西2ヶ所にBBQ専用スペースを設置。気兼ねなくBBQを楽しめるスペースとして、毎週のようにご利用があり、好評

一時係留バースの増設



係フェンダー設置で安全で使いやすい一時係留バースに。ヨットレースなどのイベント開催時や近隣ハーバーからのビジター艇の受け入れの容量と利便性が向上。

入退場システムの導入



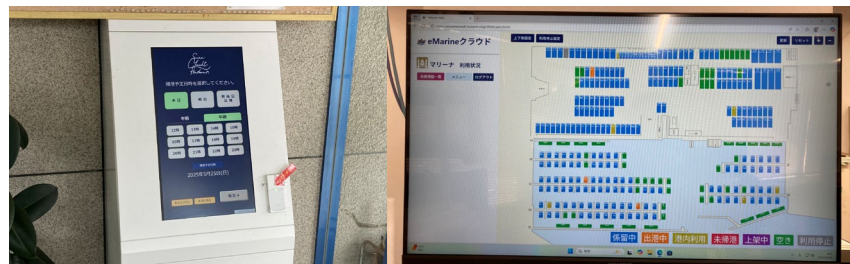
利用者にオーナーカードを配布し、管理棟ゲート及び警備室横ゲートに設置したカードリーダーにタッチすることで解錠が可能に。出航管理システムと連携して運用。

2. R6年度事業報告③

① マリーナとしての基礎的サービスの徹底と魅力向上

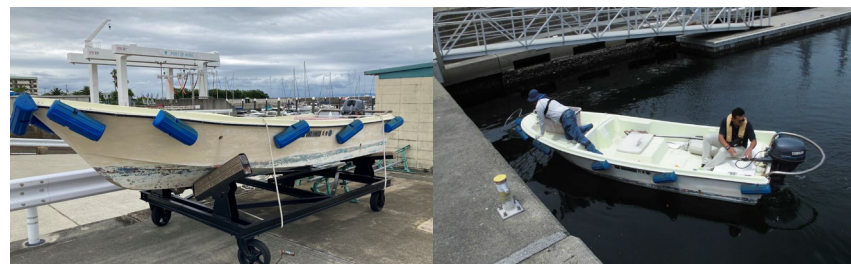
安全性向上

出航管理システムの導入



オーナーカードと必要項目の画面タッチで申請が完了。
申請の簡略化による利用者の利便性向上と、未帰港の
可視化など安全管理に寄与。

海上清掃用ボートの購入



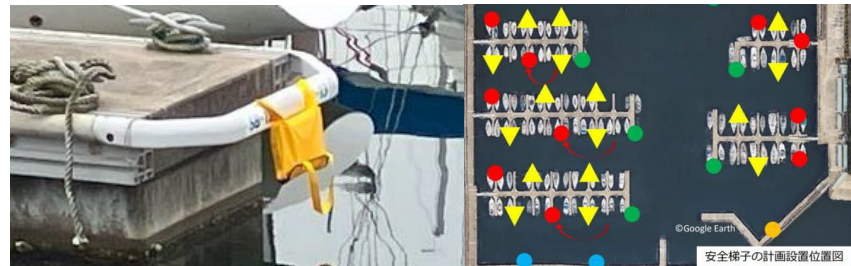
南ハーバー内の海面美化のため、海上清掃用ボートを購
入。定期的な海上清掃作業により、南ハーバー内の美化
を推進し、安全で快適な利用環境維持に貢献。

監視カメラの設置



ヤード内 8 基及び北側駐車場 6 基に加え、駐車場・ク
レーン・管理棟内に 4 基を追加。不測の事故や悪天候に対
する警戒・監視能力を強化し、安全の維持に寄与。

セーフティラダーの設置



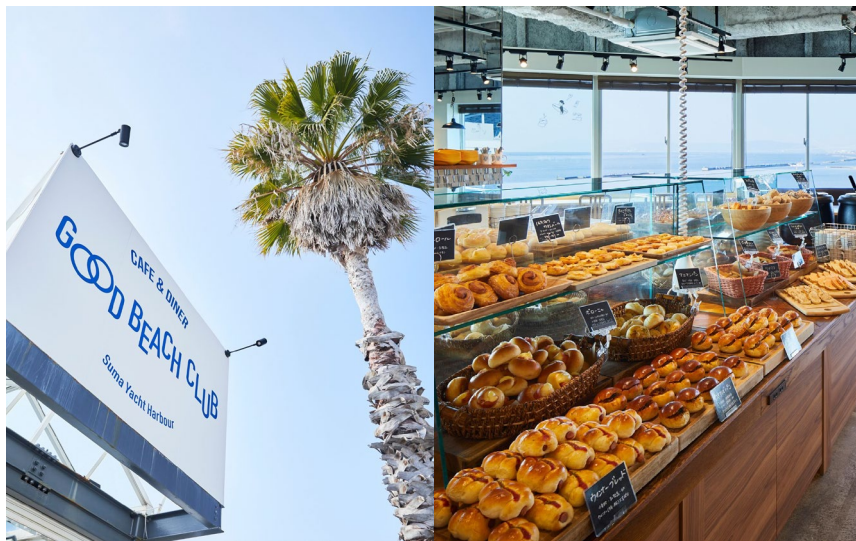
栈橋の喫水上に固定ラダーとそれを補完する簡易ラダーを
を設置。海面への転落時に安全に戻る手段を用意。
監視カメラによる監視と合わせハーバー内の安全性向上。

2. R6年度事業報告④

2 市民に開かれたマリナーパークへの進化と安全確保

公共性の強化

レストランのリニューアルと魅力向上



須磨YH管理棟のレストランのブランドを「GOOD BEACH CLUB」に変更し、内外装をリニューアル。同時にメニューの見直しを実施し、須磨海岸周辺のグルメスポットとして注目を集めている。
須磨シーサイドパークの協力企業として、地域の賑わいに貢献。

海洋文化の醸成

レンタルボートの充実



レンタルボートのラインナップに28フィートの中型モデルを追加。24フィート、27フィートのボートと合わせ3隻体制を構築。
ボートオーナー以外にも海に親しむ機会を提供し、幅広い層の須磨YH利用を促すことを期待。

2. R6年度事業報告⑤

2 市民に開かれたマリンパークへの進化と安全確保

海洋文化の醸成

6月23日 マリンスポーツフェスティバル in 須磨



須磨海岸でSUP、BIGSUP、カヌー、フローティングバイクの4種類の水上演習体験と、陸上ではビーチヨガ、ストライダー体験を提供するイベントを実施。梅雨時期で天候には恵まれなかったが、SNSや地元のコミュニティ雑誌等に取り上げていただき、家族連れなど多くの参加者を得られた。

後援：神戸市

協賛：B & G KOBE・Kukahi・ムラサキスポーツ

参加人数 86名

海洋文化の醸成

7月21日 須磨ドッグサップイベント



須磨YHで開催された「DOG FESTA SUMA」との併催で北ハーバーでドッグサップ体験イベントを実施。飼い主が犬と楽しむドッグサップはまだ知名度が低く、須磨周辺海域では初めてのイベント開催となった。参加者の多くが神戸市内及び須磨近隣の住民で、初めてのドッグサップ体験で多くの好評を得た。

協力：日本ドッグサップ協会

体験者数 30名 来場者数 300名

2. R6年度事業報告⑥

2 市民に開かれたマリパークへの進化と安全確保

海洋文化の醸成

11月17日 MARIS サスティナブルビレッジ in 須磨



須磨YH（北ハーバー）活性化を目的に「守りたいきれいな海・豊かな海 100年後の海のために！」をテーマとしたSDGsイベント「サスティナブルビレッジ」を開催。北ハーバー水面と艇庫を会場として活用。

「海岸のごみはどこから来るの？」、「魚が食べなくなるマイクロプラスチックは何色か？」を題材とした海洋学習を実施し、子供たちが海洋について学ぶ機会を提供した。

協力：神戸大学 内海域環境教育センター

参加人数 43名

3 周辺事業との連携による、エリアの価値向上

社会貢献

9月14日 官民連携パトロールによる安全啓発活動



神戸海上保安部巡視船、須磨ヨットハーバーレスキューボート1隻、水上オートバイ3隻を使用して兵庫県須磨周辺海域（須磨海岸沖）～明石海峡大橋～新港突堤までの水域で安全啓発活動を実施した。

当該水域でプレジャーボート5隻、水上オートバイ5隻、及びSUP3隻に対し、安全啓発を行った。

協力：神戸市、神戸海上保安部、関西小型船安全協会
日本海洋レジャー安全・振興協会

3. R7年度事業計画①

① マリーナとしての基礎的サービスの徹底と魅力向上

サービス向上	シャワーの時間外利用
	オーナーラウンジの設置
	屋外レストエリア設置
	マリンショップの店舗化
	管理棟や棧橋の老朽化対策の改修（電気設備・エレベーター等）の検討
	専門知識を持ったスタッフの配置
安全性向上	レスキュー艇の配備とBANへの加入推奨
コミュニケーション促進	WEBサイト・公式LINEの情報発信の充実と、利用者ニーズを収集できる双方向のコミュニケーション作り ヨット文化振興への支援

② 市民に開かれたマリンパークへの進化と安全確保

公共性の強化	「こうべすま海の駅」としての活性化と近隣ハーバーからのビジター艇受け入れ促進
海洋文化の醸成	市民向けマリンアカデミーの継続的な開催
	海洋振興にかかわるサポートメンバー体制の構築

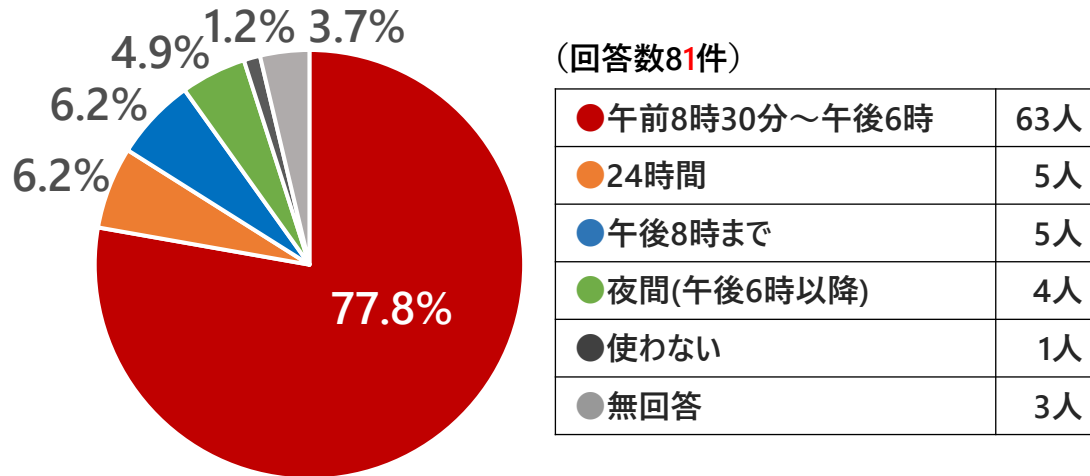
③ 周辺事業との連携による、エリアの価値向上

エリア連携	須磨シーサイドパークの協力企業として体験クルーズやイベントの企画、情報発信を強化
事業連携	サービス料金の見直しと海上空きバースの利用検討
SDGs・社会貢献	官民連携による須磨エリアの安全管理活動の推進
	安全パトロールの実施、拠点整備、リーダー育成
	システムの活用や手続きや情報発信のオンライン化によるペーパーレス推進 青少年に向けた環境教育の実施

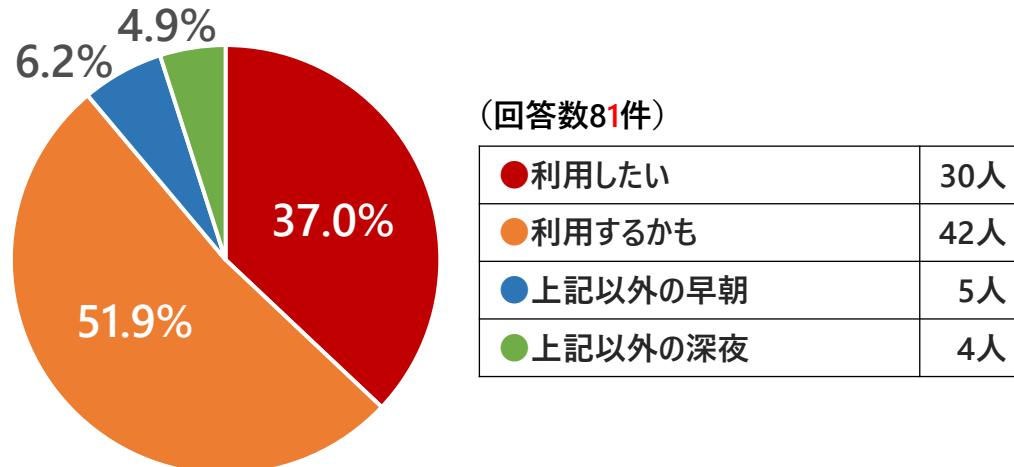
3. R7年度事業計画②(実施予定)

■ アンケートの結果 (配布数260)

Q10-3 シャワーを利用する時間帯



Q10-4 5月～9月は午前8時～午後10時に利用時間延長



■ シャワー室の利用時間延長について

アンケート調査の結果をもとに慎重に検討を重ねた結果、今年度は試験的にシャワー室の利用時間を以下のようにいたします。

7月から9月末までの利用時間

午前8時から午後10時

その他の時期については従来通り営業時間内とします。

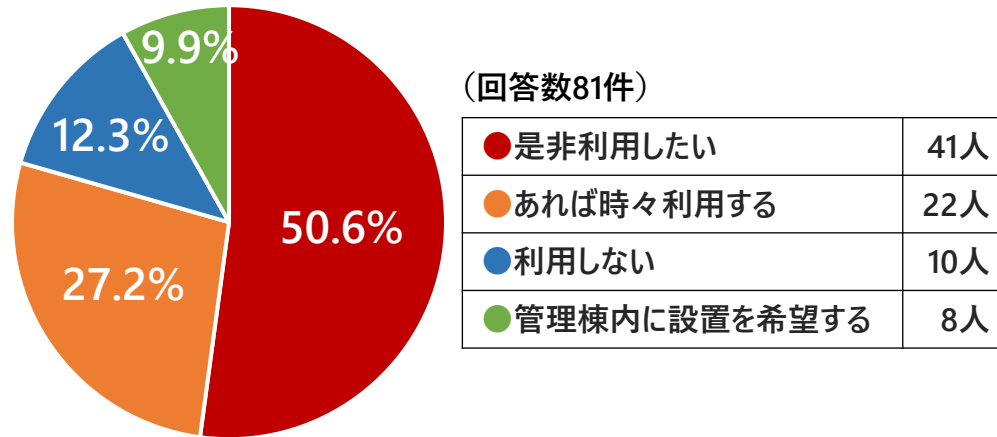
今年度の利用状況を確認し、以降の利用時間帯を検討いたします。

今後も利用者の意見を収集し、改善に努めます。

3. R7年度事業計画③(最終調整中)

■ アンケートの結果 (配布数260)

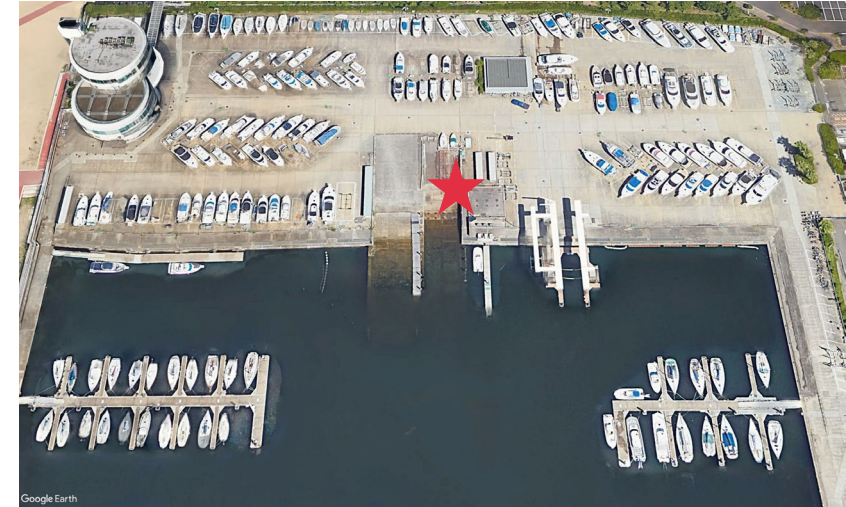
Q11 オーナーラウンジの設置について



アンケート調査の結果を基に慎重な検討を重ねた結果、センターヤード付近に設置する方向で進めたいと考えています。

利用者のニーズにお応えできるよう、ご意見の収集とご利用状況の確認を継続し、賑わいのある場の提供に努めさせていただきます。

設置予定場所と施設イメージ



3. R7年度事業計画④(検討課題)

■ 管理棟 1Fカウンターの整備と屋外レストエリアの設置について

令和6年度より、管理棟1階のカウンター整備について検討を進めております。この整備は、お客様との円滑なコミュニケーションを図る場としての機能を高めることを目的としています。現在、セキュリティの確保、限られたスペースの有効活用、受付業務の効率化といった観点から、最適な配置や機能の在り方を検討しております。

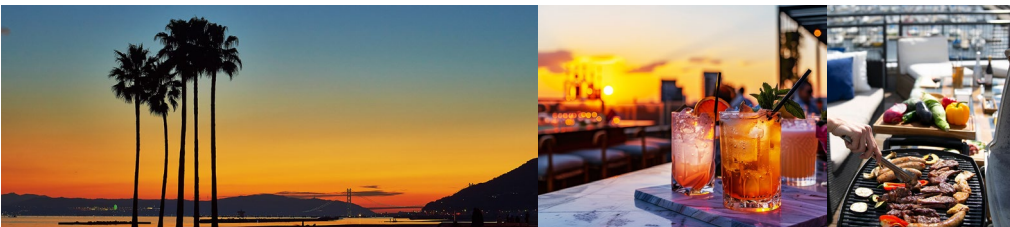
また、屋外のレストエリアについても、利用者の皆さまの憩いの場となるよう整備を検討しております。ただし、人の動線確保や施設の風塩害による影響、耐久性の確保といった点も重要な要素と捉え、慎重に検討を進めております。

今後も、ご利用者の皆さまにとって快適で安全な環境となるよう、引き続き施設の改善に取り組んでまいります。

■ その他オーナー様の満足度を高めるための取り組み

利用者の皆様の交流の場として、「GOOD BEACH CLUB」にて、オーナー限定特別料金のドリンク、BBQの提供を7月、8月の土曜日に行わせていただきます。

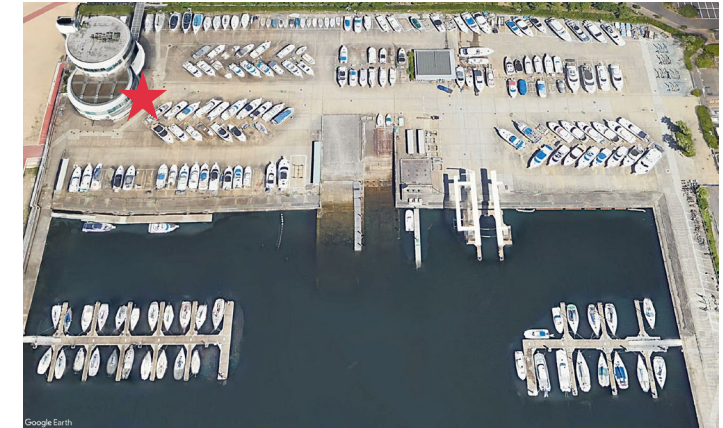
具体的な時間、料金については改めてご案内させていただきます。



管理棟 1Fカウンター



屋外レストエリア設置予定場所



4. R6年度決算及びR7年度予算

科 目		R6年度 執行額	R6年度 計画	R7年度 計画	R8年度 計画	R9年度 計画	R10年度 計画
(1) 収 入 合 計		315,092	354,181	364,601	380,420	393,237	405,857
	利用料収入合計	153,143	184,412	186,967	190,052	192,749	196,344
	利用料金収入（一般使用に係るもの）	1,392	1,628	1,628	1,628	1,628	1,628
	利用料金収入（専用使用にかかるもの）	133,750	127,623	128,927	130,249	130,513	130,866
	利用料金収入（係留・陸置以外のもの）	18,001	55,161	56,412	58,175	60,608	63,850
	自主事業収入	161,890	169,547	177,412	190,146	200,266	209,291
	その他収入(口座預金利息等)	59	222	222	222	222	222
(2) 支 出 合 計		314,258	338,876	349,039	361,739	372,827	383,910
	人件費	67,740	68,970	68,970	68,970	68,970	68,970
	原材料費	158,150	168,642	175,587	185,984	195,425	204,947
	管理費	73,011	79,704	82,812	83,778	84,685	85,587
	保守管理業務	6,769	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	警備業務	11,913	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	清掃業務	4,288	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700
	修繕費	7,001	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	施設の魅力向上のための投資	19,458	19,450	21,700	21,700	21,700	21,700
	市への納付金	15,357	21,560	21,670	23,007	23,747	24,406
	収 支 差	834	15,305	15,562	18,681	20,410	21,947

5. シーバード神戸の活動報告

■ シーバード神戸の発足（R7.4.21）

水上オートバイを活用した社会貢献を目的とする団体シーバードジャパンの兵庫県で3番目の拠点として「シーバード神戸」が須磨ヨットハーバーに開設されました。シーバードジャパンは安全確保を柱とし、パトロールやレスキュー活動を行うほか、親水活動の推進、防災・共助の取り組みを全国で展開しています。地域の声に耳を傾け、多様な団体と協力しながら、水辺をより安全で魅力的な場所にすることを使命としています。
 須磨YHの役割である「安全防災」「社会貢献」を担います。



■ 主な活動報告及び予定

- 5月6日 須磨沖にて漂流中のウインドサーフィン利用者を救助し、須磨海岸に曳航しました。
- 6月18日 神戸市漁業協同組合からの依頼で、神戸まつりヨットレースの海上監視を実施しました。
- 6月25日 合同訓練実施予定（須磨・水上消防、海上保安庁、神戸ライフセーバー、シーバード神戸）
- 7月19日 官民連携パトロール実施予定（海上保安庁、シーバード神戸）



6. BANの紹介

■ プレジャーボートの民間救助サービス「BAN」

航行不能に陥ったプレジャーボートやヨットの曳航、または伴走等のレスキューサービスを24時間・365日の体制で提供する会員制サービス

■ 須磨YHも「BANステーション」

BANのサービスを提供する拠点が「BANステーション」と呼ばれ、各地のマリン事業者が登録されています。

須磨YHも「BANステーション」に登録されており、海上の安全に貢献しています。



BAN
Boat Assistance Network

海上で航行不能になったボート・ヨットを
**最寄りの安全な係留地に
曳航または、伴走します。**

無料

**BANは、
シーマンのための
会員制救助
システムです**

**曳航・伴走
サービス**

BANのレスキューネットワークは、マリーナや海事従業者等の協力によって構成され、24時間365日、乗員の安全をサポートすることを主な業務としています。

会費例	
■5トン未満船の場合	
入会金	10,000円
年会費	24,000円
■5トン～20トン未満船の場合	
入会金	10,000円
年会費	42,000円



**24時間・365日の
安心を月々わずか
¥2,000*から**
※5トン未満の場合

BAN救助サービスの制限
BAN救助サービス開始の依頼を受けた場合であっても、夜間・雨天・危険海域であること等の理由で人命に脅かされた危険がある場合等、当該BAN救助サービスが実施できる範囲を超えていると判断されるときは、これに代わる適切な対応をさせていただきます。

レスキューの流れ

- 1 トラブル発生!
- 2 SOS!
- 3 トラブル発生 (救助要請)
- 4 出動
- 5 曳航
- 6 係留

BANのサービス海域

サービス海域は沿岸10の海域で、かつ電波の到達距離範囲内です。



●RS(救助船基地): 824箇所
(2024年10月末現在)

会員募集中

☎ 0120-450-043
www.kairekkyo.gr.jp/ban

ホームページからもお申し込みできます。

<https://www.kairekyo.gr.jp/ban/>

7. 新スタッフ紹介

ハーバースター補佐

鈴木 國央 (すずき くにお)



1976年 三重県四日市市生まれ

【セーリング競技歴】

1998年 アジア大会（バンコク）：4位



2000年 シドニー五輪（レーザー級）日本代表

2002年 アジア大会（釜山）：銅メダル（レーザー級）



2004年 アテネ五輪（レーザー級）日本代表

2011年 東半球選手権大会（スター級）：銅メダル

【指導・コーチ歴】

和歌山セーリングセンター（ナショナルトレーニングセンター
競技別強化拠点）センター長（2005～2012）

日本オプティミスト協会 ヘッドコーチ（2011～2013）

和歌山大学ヨット部、和歌山県連盟などで育成指導

日本セーリング連盟 ナショナルコーチ（2013～2016）



東京2020オリンピック 49erFX級 日本代表チームコーチ

420級、470級などで世界大会・五輪代表を輩出

チームアビーム、チームREV'S等でコーチ・監督歴任

海に親しみ、楽しみ、賑わいの場所づくりを目指します！

8. 質疑応答